

第3章

次世代育成支援の基本方向

- 1 次世代育成支援の
基本的考え方 …………… 18
 - (1) すべての子どもと家庭を
対象とした支援 …… 18
 - (2) 男女共同しての
子育ての促進 …… 18
 - (3) 次代を担う健やかな
子どもの育成 …… 18
 - (4) 家庭や地域の子育て
力の再構築 …… 19
 - (5) 次代の親の育成 …… 19
- 2 次世代育成支援
の基本方向 …………… 20
 - (1) 基本理念 …………… 20
 - (2) 基本方針 …………… 20
 - (3) 基本目標 …………… 21
 - 〈施策の体系〉 …………… 22

1. 次世代育成支援の基本的考え方

(1) すべての子どもと家庭を対象とした支援

児童福祉行政は、本来、児童憲章や児童福祉法にうたわれているとおり、すべての子どもの心身両面にわたる健全な育成を図ることにあります。品川区においても、これまですべての子どもとその家庭を対象に施策・事業を進めてきました。

近年の子どもを取り巻く環境が大きく変化している状況のもとで、次世代育成支援策の推進にあたっては、要支援児童や家庭に対して、きめ細かな施策を更に充実していくとともに、「児童の権利に関する条約」の精神を地域で実現するため、社会生活においてハンディキャップのある子どもたちをはじめ、すべての子どもの健全育成とすべての子育て家庭への必要な支援を行っていくことを基本に、ゆるぎない家庭づくりへと進めていく必要があります。

(2) 男女共同しての子育ての促進

これまでは、家庭における子育ての肉体的・精神的負担が主に母親に偏っており、子育てについて女性の負担は大きなものがあります。また、家庭は男女が共に担い、支えるものという意識を子どもたちに伝えるためにも、父母自らが子育てを平等に分担していくことが必要になってきています。

そのためには、「男は仕事、女は家庭」という固定的な性別役割分担意識を変革するとともに、男性を含めたすべての人が仕事と生活時間のバランスがとれた働き方を選択できるような「働き方」を見直し、男女が互いに尊重し合い、共に支え合うという男女共同の視点から次世代育成支援を進めていく必要があります。

(3) 次代を担う健やかな子どもの育成

最近、若年者の喫煙や飲酒、薬物乱用などの問題が顕在化し、自分だけでなく将来の子どもに影響を及ぼすような状況にあることから、家庭や学校との連携を強化し、思春期から心と身体の自己管理の大切さを知り、望ましい生活習慣を身に付けられるよう、より一層母子保健・思春期保健対策を充実する必要があります。

また、現在は情報の時代であり、子育てについてもさまざまな情報が氾濫しています。情報が多すぎることによりかえって混乱してしまったり、育児書どおりにいかないため悩んでしまう例もみられます。実践的で良質な情報を適切に提供することが必要です。

一方、子どもたちを取り巻く生活環境についても、経済力の向上などに伴い、物質的に豊かになっている反面、少子化、核家族化による小家族化は、子どもの成長に欠かすことのできない豊かな人間関係や地域の相互扶助機能の希薄化の要因ともなっています。

子どもの健やかな成長を促進するためには、子ども同士のさまざまな遊びや、自然や科学とのふれあい、文化・スポーツ活動等に日頃から親しみ、豊かな体験を重ねることが必

要です。

すべての子どもたちが健やかに成長することができるよう、子どもの遊びや体験、文化・スポーツ活動等を奨励するとともに、地域社会との関わりの中で、豊かな仲間づくりに貢献できるよう、さまざまな条件整備を進めていく必要があります。

（４）家庭や地域の子育て力の再構築

核家族化や夫婦共働き家庭の一般化などによる家庭環境の変化は、子育て中の親の不安感、負担感を生み出し、子どもの健やかな成長に対する悩みや不安は一層助長されているように感じられます。

家庭、学校、地域社会、事業所、行政等が相互に連携・協力しながら、子どもの健全育成と子育て環境の改善を図っていく必要があります。その場合、子どもの養育及び発達については、基本的には家庭が責任を持つとともに、必要な時に必要な支援が受けられるよう、地域社会全体でサポートしていけるような体制づくりに積極的に取り組み、家庭や地域の子育て力を再構築していく必要があります。

（５）次代の親の育成

家庭の教育力が低下し、子どもの問題行動の背景に親として育ちきれていない保護者の存在が指摘されています。都市化や核家族化が進んだ今日では、乳幼児と一度も接したことがない男女が親になることも珍しくありません。

今後の施策の展開にあたっては、次代の親となる中学生・高校生に対し次代の親の育成および人づくりという視点から、男女が共に子どもを育てることや家庭教育の意義を学び、実際に保育体験を通して若い子どもを慈しむ心を育むなど、母子保健サービスや学校教育における次代の親を育成する機会の拡充を図っていく必要があります。

また、保護者自身が子育てをしているという実感を味わうなかで、子育ての苦労や辛さを乗り越えて、子育ての中にある人間的な喜びや楽しさを見出し、親としての成長を遂げていく「親育ち」を支援する施策の充実を図る必要があります。

2. 次世代育成支援の基本方向

(1) 基本理念

子どもが、人を、地域をつなぎ、子育ての楽しさをひろげる都市 品川

明日を担う子どもたちの健やかな成長は、いつの時代でも変わらぬ私たちの願いです。

しかし、子どもたちをとりまく環境は大きく変化しています。物質的には豊かになったものの、核家族化や少子化の進行に伴い、子ども同士のふれあいが希薄になり、家庭の子育て力が低下していると言われていています。また、最近では、いじめや虐待、凶器を使っての犯罪など、子どもたちをめぐる問題も複雑化し、家庭や学校の中だけでは担いきれなくなっていることも事実です。

そこで、品川区では、こうした時代の流れを踏まえ、「子育ては第一義的責任は親にある」ということを前提に、安心して子どもを生み、育てることができ、保護者も子育ての楽しさを感じながら、子どもたちが健やかに成長することができる環境づくりに積極的に取り組んでいきます。

(2) 基本方針

「子どもが、人を、地域をつなぎ、子育ての楽しさをひろげる都市 品川」の実現に向けて、基本方針を次のように定めます。

■ 安心して子どもを生み育てることができる環境づくり

子育てに喜びや楽しさを感じ、安心して子どもを生み育てることができる環境や男女が共に子育てと仕事を両立できる環境の整備、子育てについての相談体制の整備等を進めます。

■ 子どもが明るくのびのび成長できる環境づくり

ゆとりある教育、遊び、あるいはさまざまな体験や交流を通して豊かな人間関係、自立や社会性を伸ばすことができるよう、子どもの視点に立って、子どもがのびのびと成長していける環境の整備等を進めます。

■ 子育てと子どもの成長を社会全体が協力し、応援する環境づくり

安心して子どもを生み育てることができる環境や次代を担う子どもたちが明るくのびのび成長できる環境の整備に向けて、社会全体が協力し、支援していくため、家庭はもとより、地域社会、学校、団体、事業所、行政等が連携を保ち、それぞれの役割を果たしながら協力し、子育てを支援する環境の整備を進めます。

(3) 基本目標

基本方針を具体化するため、次の8つを基本目標として位置づけ施策を推進します。

■ 安心できる出産と健康づくり

心身ともに健やかな子どもを生み育てられるよう、思春期から妊娠、出産、新生児、乳幼児期を通じて、一貫した体系のもとに母子保健対策や子どもの健康づくり、子どもの医療体制の充実を図り、疾病や障害の予防、早期発見・早期対応に努めます。

■ 要支援児童への対応

子どもたちの権利が尊重されるよう、子どもの人権についての普及・啓発を図るとともに、子どもへの虐待を防止するための活動の充実を図り、見守りのネットワークを構築します。

また、障害のある子どもの相談・療育体制の充実や援助を必要とする家庭に対する施策を推進し、軽度の発達障害を含めた子どもの保健と福祉の向上に努めます。

■ 安心して働ける子育て

男女が共に子育てに参加することができるよう、子どもを生み育てながら安心して働くことができる就労環境の整備や多様な保育サービスを充実し、子育てと仕事の両立支援に努めます。

■ 子どもの心を育てる教育の充実

一人ひとりの子どもの個性を大切にしながら、互いに思いやり、尊重する豊かな心を持ち、健やかに成長することができるよう、家庭や保育園、幼稚園、学校等を通しての教育の充実を図ります。

■ 子どもの豊かな遊びと体験機会の充実

すべての子どもたちが、その個性と豊かな可能性を最大限発揮し、健やかに成長することができるよう、子どもがいきいきと遊べる環境づくりや多様な体験の場と機会を提供し、子どもの健全育成に努めます。

■ 子どもと子育てにやさしい地域環境の整備

子どもを安心して生み育てることができるよう、子育てに配慮したゆとりある居住環境の整備や子育てにやさしい公共的施設などの整備を進めます。

また、子どもを交通事故や犯罪等の被害から守るため、地域ぐるみの取り組みを推進します。

■ 地域における子育て家庭への支援

子育てについて不安を持つ親や援助を必要とする家庭に対し、ニーズに応じた多様な支援策を身近なところで受けられるよう充実し、子育ての不安感や負担感の軽減に努めます。また、地域における子育て支援体制のシステムの整備を推進します。

■ 地域の子育て力を高める環境づくり

子育て家庭や子どもが地域で安心して暮らせるよう、地域での人と人とのつながりを大切にし、地域社会全体で子育て・子育てとともに、親育ちを応援していけるような体制づくりを推進します。

また、区内の企業と連携して、職場における子育て支援を検討し推進します。

施 策 の

基本理念

子どもが、人を、
地域をつなぎ、
子育ての楽しさを
ひろげる都市 まち 品川

基本方針

安心して子どもを
生み育てることが
できる環境づくり

子どもが明るく
のびのび成長
できる環境づくり

子育てと子どもの成長を
社会全体が協力し、応援
する環境づくり

体系

基本目標

安心できる出産と健康づくり

要支援児童への対応

安心して働ける子育て支援

子どもの心を育てる教育の充実

子どもの豊かな遊びと体験
機会の充実

子どもと子育てにやさしい
地域環境の整備

地域における子育て家庭
への支援

地域の子育て力を高める
環境づくり

推進計画

母子保健・医療体制の充実
親と子の心身の健康づくり

児童虐待等防止対策の充実
ひとり親家庭への支援
障害のある子どもと家庭への支援

多様な保育サービスの充実
子育てがしやすい就労環境づくり
男女共同による子育ての促進

幼児教育の充実
学校教育の充実
家庭や地域の教育力の向上
親になるための学習環境の整備

子どもがいきいきと遊べる環境づくり
豊かな体験活動の充実
子どもの遊びと健全育成

子育てに配慮した住宅・住環境の整備
安心して子育てができるまちづくり
子どもの安全確保

地域における子育て家庭への支援
子育ての相談・情報提供体制の充実
子育ての経済的負担の軽減
孤立している子育て家庭への対応

地域における子育て支援のネットワークづくり
健やかに育つための地域活動の促進

